



眞善美

学校教育目標「無限の可能性をひらく教育」



夏休みが終わり、学校再開



44 日間の夏休みを終え、9月1日（月）から学校が再開しました。多くの生徒が、たくさんの思い出をつくり、心と体をリフレッシュすることができたことと思います。

全校集会で生徒に伝えた話です。

- 夏休み明けも、鴨宮中学校の「眞善美」を意識して、どんな小さなことでもよいので、新しい一歩を踏み出してみてください。また、引き続き、自分自身の成長のために、時間を大切に、計画的に使っていきましょう。
- 今年の夏は、終戦 80 年、日航機墜落事故 40 年など「いのち」について改めて考える、大きな節目の年でした。また、9月1日は「防災の日」で、関東大震災が起こったことを由来としています。学校でも家でも、自分の「いのち」をどうしたら守れるかについて、真剣に考えてみてください。
- 熱中症や感染症などへの対策を行い、体調が悪いときには、くれぐれも無理をしないようにしてください。
- 様々な不安や悩みを抱えている人もいます。一人で抱え込まないで、9月2日（火）から行う教育相談などで、先生や友だち、家族に相談してください。また、周りに元気のない友だちがいたら、是非、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。
- 徐々に生活のリズムを整え、学習や行事などに向けて、しっかりとリスタートしてください。「ともに」取り組んでいきましょう。

夏季休業中の7月30日に発生した「カムチャツカ半島東方沖地震」は、2,500Km以上離れているにもかかわらず、小田原市にも津波警報が出ました。本校で定めている「地震・津波等災害時の対応」に基づき、部活動などで登校していた生徒は、校舎の3階に避難し、保護者の方にお迎えに来ていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

その際、保護者の方から、避難している生徒たちのために、非常用のパンの缶詰やお菓子等をいただきました。学校が、保護者の方に支えられていることを改めて感じました。本当にありがとうございました。

保護者、地域の皆様におかれましては、夏季休業明けも、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

夏休み中の部活動

夏季休業中、各部活動が鴨宮中学校の代表として、「誇り」と「プライド」をもって活動しました。また、「結果」だけでなく「プロセス」

を大切にし、「感謝」の気持ちを忘れずに取り組みました。保護者、地域の皆様には、生徒たちの活動を支え、温かい応援をいただき、ありがとうございました。

一部ですが、活躍の様子を、鴨宮中学校のホームページ（「学校日記」）でご覧いただくことができます。右の二次元コードからアクセスください。



ボランティア活動 地域とともに



7月21日(月・祝)、飯泉八幡神社の境内で「飯泉1区自治会 ハッピー♪夏祭り」が開催されました。

例年、本校生徒の参加は、お祭り当日だけでしたが、今年は、事前の打ち合わせから参加し、地域の方と「ともに」お祭りを創りました。

太鼓の演奏などでのぎわった当日は、「鴨中ボランティアお楽しみブース」を開設し、うちわや風車づくり、めんこ遊びなどをとおして、地域の幼児や小学生など100人以上と交流しました。関わった子どもたちの笑顔と、たくさんの方々からの「ありがとう」は、ボランティアに参加した中学生にとって、最高の思い出になったことと思います。

これからも、地域と「ともに」ある学校をめざして取り組んでまいります。



学び続ける教師



夏季休業中も、先生方は、教師としての力量を高めるため、多くの「研修」をとおして学びを深めました。「各教科等における指導と評価について」、「授業改善のための学習用端末の活用について」、「生成AI

の現状について」、「今日的な人権課題について」、「教育関係法令等について」、「ステップアップ調査の活用について」など内容も様々です。学ぶ方法も、専門家の講話を聞いたり、本校の先生が他の研修で学んだことを伝達したり、事例について考えたり、研究協議を行ったり、実際に端末を使ったりと多様です。

これからも、生徒一人ひとりの可能性をひらくために、教師が研究を積み重ね、生徒にとってよりよい教育に向け不断の努力をしてまいります。



平和の樹

あいさつロードの傍らに一本の木が植えられています。「アオギリ」です。この「アオギリ」は、広島市から譲り受けた「被爆アオギリ二世」。

原爆の熱線と爆風により幹の半分がえぐられたにも関わらず、翌春に芽吹き、人々に勇気を与えた「アオギリ」の子孫です。

たくましく茂る「アオギリ」を見て、「平和」や「いのち」の大切さを感じてください。



北館トイレ改修



夏季休業開始から、北館トイレの改修工事を行っています。生徒たちには、もうしばらくの間、不便をかけることとなりますが、新しくなったトイレを快適に使用するために、ご理解とご協力をお願いします。